令和８年 11 月 24 日
海　上　保　安　庁

マニラ･ダイアローグに参加しました！

11 月 17 日、山戸海上保安監はフィリピンにおいて開催された「マニラ・ダイアローグ※」に参加し、セッション「沿岸警備隊の新たな時代- ASEAN コーストガードフォーラム（ACF）を通じた非伝統的な海上安全保障への対応」において、当庁が実施してきた東南アジアにおける国際協力を説明するとともに、当庁と ACF の関わりについて登壇者と議論を交わしました。

※　マニラ・ダイアローグとは

東南アジアやインド太平洋地域を中心とした海上保安機関、外交関係者、学者等が参加し、自由で開かれたルールに基づく海洋秩序という地域共通の利益を促進するため、南シナ海をとりまく各種課題について議論する会議。2024 年にフィリピンが立ち上げ、今回で３回目を迎える。

１．開催日・場所

開催日：令和８年 11 月 15 日(日)～11 月 17 日(火)

場　所：フィリピン・マニラ　ガリオホール

２．登壇者（パラレルセッションＣ）

海上保安庁	：山戸海上保安監
フィリピン沿岸警備隊	：スパンガン長官
マレーシア海上法令執行庁	：ザワウィ次長
タイ海上法執行司令センター	：タナトス副室長

３．結果

本会合ではパラレルセッションＣのパネリストとして、これまで当庁が ASEAN 各国に対して実施してきた能力向上支援を含む連携や協力ついて説明するとともに、ACF と情報を共有しながら、「インド太平洋に関する ASEAN アウトルック（AOIP）」と基本的原則を共有する、進化した「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の実現に向けた取り組みについて発言をし、登壇者や聴講者と活発な議論を行いました。



パラレルセッションＣでの発言の様子



登壇者との議論の様子